

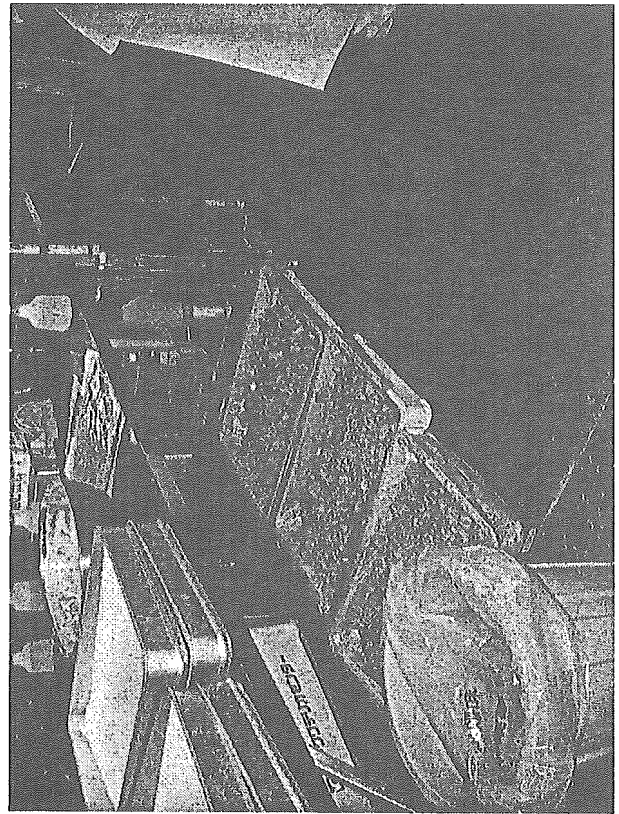
食材の保管・取り扱いに関する危害傾向値と危害度

	危害傾向値			危害度
	よくある	時々ある	まれにある	
食材の床への直置き		○		×××
食材の低い位置での保管	○			×××
食材の常温保管	○			×××
食材が開放されたまま、長時間放置されている		○		×××
食材の常温解凍	○			××
出入り口付近で食材を保管している		○		×××
通路で食材を扱っている			○	×××
扇風機での食材冷却	○			××
エアコンの風が直接食材にあたる		○		××
トレーに乗せた盛り付け品の積み重ね		○		××

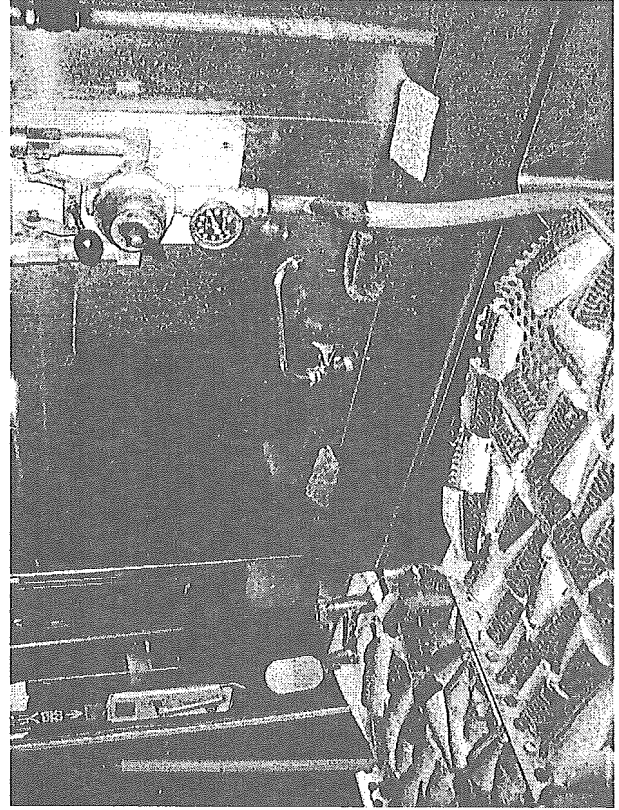
改善必要箇所

食材の保管・取り扱い

食材の床への直置き



切り身魚の常温保管

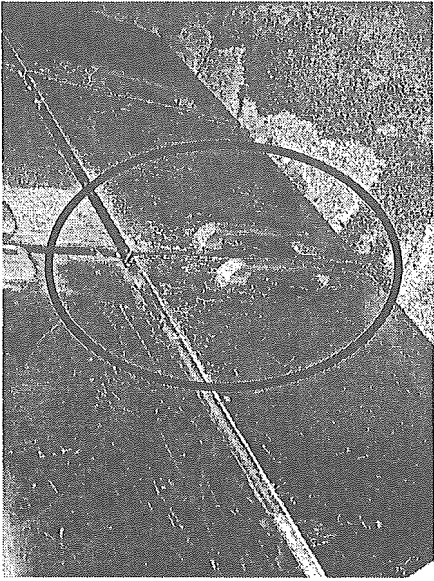
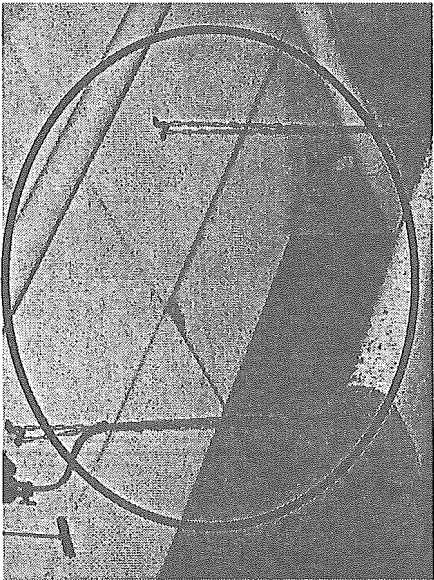
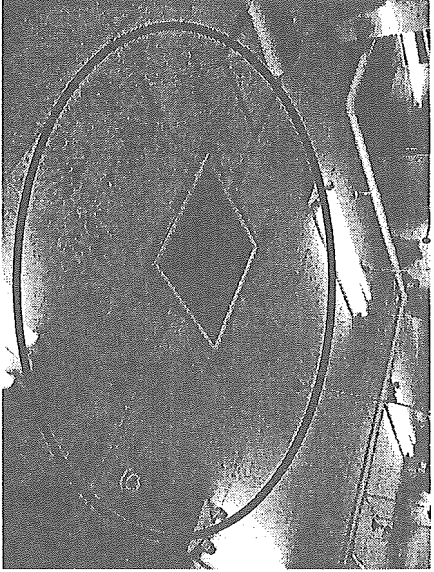


清掃に関する危害傾向値と危害度

	危害傾向値		危害度
	よくある	時々ある まれにある	
出入りロマットの汚れ		○	××
床の汚水	○		×××
床の残さ汚れ	○		×××
床の油汚れ		○	×
グレーチングの汚れ		○	××
キャリーの汚れ		○	××
パレットの汚れ		○	××
換気扇の汚れ	○		××
天井の汚れ	○		××
壁の汚れ	○		××
防虫カーテンの汚れ	○		××
照明器具の汚れ	○		××
コンセントの汚れ	○		×
作業台の汚れ	○		××
調理器具の洗浄不良		○	××
ドアの取っ手の汚れ	○		××
冷蔵庫・冷凍庫・殺菌庫の取っ手の汚れ	○		××
冷蔵庫・冷凍庫の棚の汚れ		○	××
殺菌庫内の汚れ		○	××
収納庫レールの汚れ		○	×
揚げ物ラインの油汚れ	○		××
オーブン内の焦げ付き汚れ	○		××
まな板の汚れ	○		××
包丁の汚れ		○	××
シンク内排水口の汚れ	○		××
スポンジ・タワシが汚れたまま放置されている	○		××
ダスターの洗浄不良	○		××
扉の開閉用ヒモの汚れ	○		××
エアータオルの清掃が定期的に行われていない		○	××
作業服の汚れ		○	××

改善必要箇所

清掃

冷蔵庫の取っ手廻りの汚れ	
照明器具の汚れ	
天井の汚れ	

その他の危害傾向値と危害度

	危害傾向値			危害度
	よくある	時々ある	まれにある	
衛生手袋の不使用			○	×××
食材毎に衛生手袋を替えていない		○		××
手指に傷がある			○	×××
エプロンの管理が不適切	○			××
人の動線が問題(非清潔区から清潔区への移動)	○			×××
物の動線が問題(非清潔区から清潔区への移動)		○		×××
作業場のゾーニングができていない		○		×××
長靴洗い槽のゾーニングができていない		○		××
靴の履き替え時のゾーニングができていない	○			×
外履きと作業靴が靴箱内で同じ位置で管理されている		○		××
更衣室で外履きから作業靴に履き替える		○		××
外履きで作業場に立ち入る			○	×××
作業靴で作業場外を歩く			○	×××
ロッカー内に私服と作業服が混在している		○		××
吸排気のパランスが良くない			○	××
冷風吹き出し口の結露	○			××
天井に結露がある		○		××
壁・窓に結露がある		○		×
部外者の立ち入り			○	×××
正規の入退口以外からの出入りがある			○	×××
清掃道具の保管場所	○			×××
ごみの放置		○		×××
ごみ箱に蓋がない		○		××
トイレの専用履物がない			○	×××
トイレでの手洗い後にドアノブを触る			○	×××
作業着のまままでトイレを使用する	○			××
工具の放置		○		××
コンセントやコードの整理整頓が悪い	○			×
工場内に植物や鑑賞魚が置かれている			○	×××
洗剤の専用容器が使われていない		○		××
洗剤類が食材と同じ場所に置かれている		○		××
作業中(トッピング中)に清掃が行われている			○	×××

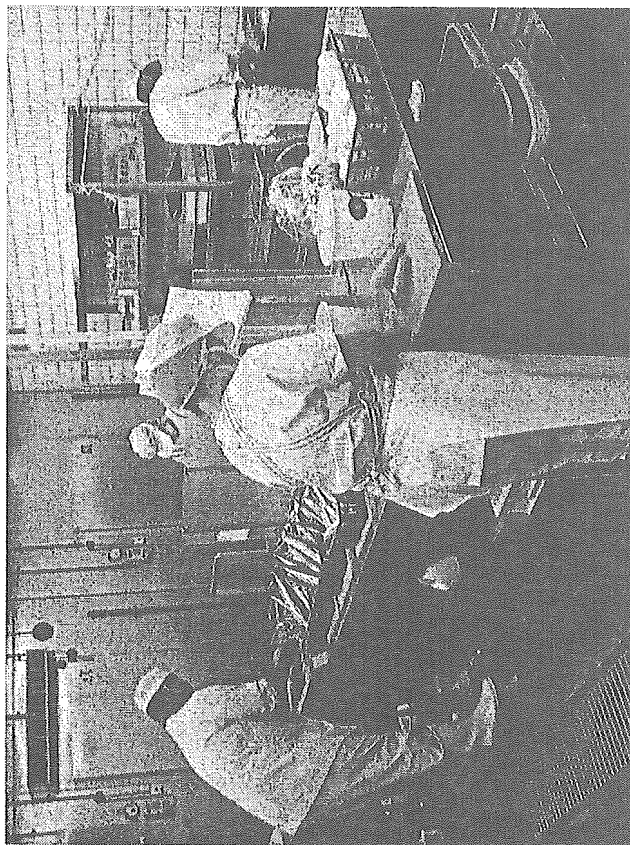
改善必要箇所

その他

衛生手袋の不使用



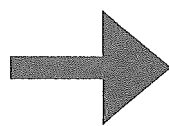
作業場のゾーニングができていない



現場診断から見つけた多くの危害箇所・状態

と

それらの改善提案例



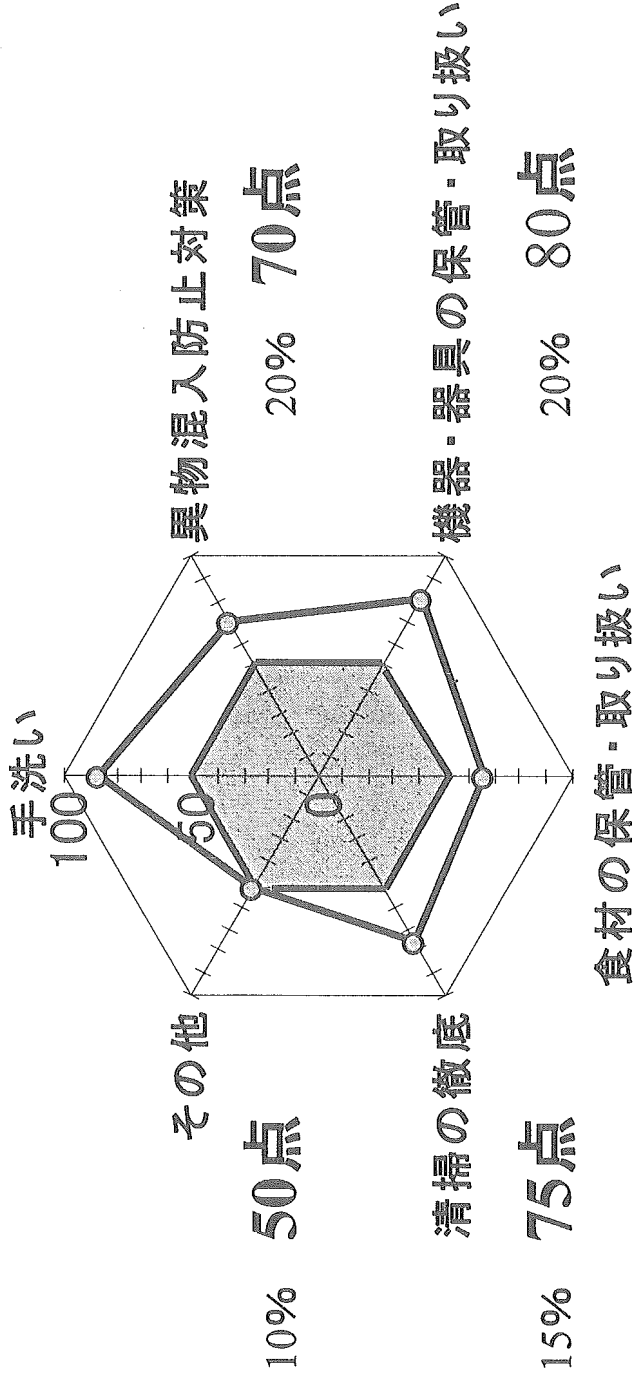
【小規模食品工場向けHACCP取り組みのための

評価・支援システムの紹介】

総合評定結果表

総合得点 72 点

15% 86点



注釈; 数字の意味

青字 大項目での比率(%)

橙字 小項目 × 大項目からの得点(点)

赤字 総合得点(桃字の合計)

小項目および大項目の評価基準一覧表(合格例)

2004.3.19

NO	大項目	大項目の得点	大項目の比率(%)	小項目	小項目の比率(%)	小項目の内容	小項目の得点	評価結果
1	手洗い(出入り口)	86	15	手洗い設備	10	無し	0	
				手洗い設備の奇異(設置の中に洗剤はあるか)	5	有り	0	
				手洗い設備	10	有り(設置が正しい) 有り(物に付着している、専用ケースに置かれている 等の異常状態のもの) 無し(又は去用の芳香剤を使用) ロール式レバータイプ エアタオル又は活性炭石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル	50	
				消毒剤	10	無し	0	
				手洗いマニュアルの有無	5	有り	0	
	手洗い(各現場)			手洗い設備	10	無し(各現場に一つつもなければ無しと異なる) 有り(シンクと共用) 有り(レバータイプ) 有り(不審物な場所に手洗い専用の設備がある) 有り(レバータイプ) 有り(自動タイプ又は自動タイプ) 有り(濡切乾燥所に手洗い専用の設備がある) 有り(レバータイプ) 有り(足踏みタイプ又は自動タイプ) 有り	100	
				手洗い設備	5	有り(設置が正しい) 有り(物に付着している、専用ケースに置かれている 等の異常状態のもの) 無し(又は去用の芳香剤を使用) ロール式レバータイプ 活性炭石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル	50	
				消毒剤	10	無し	0	
				手洗いの状況	5	手洗いができない (物が置かれている、他の用途に使われている、水が出ない) 手洗いがすぐでできる 一翼に、マニュアルがある(全箇所)	0	
				大項目1の合計	100		100	
				大項目1の割合				
				大項目1-6の合計				
				割合				
2	換気扇入防止対策	70	20					
3	換気扇・器具の設置・取り扱い	80	20					
4	食器の設置・取り扱い	65	20					
5	床の状況	75	15					
6	その他	50	10					
	大項目 1-6の合計	426	100					
	割合	72						

NO.	小項目	小項目間比率(%)	小項目の内容	小項目点数(点)	評価結果
	手洗い設備(出入り口)	10	無し 握るタイプ レバータイプ 足踏みタイプ又は自動タイプ 無し(又は固形石鹼を使用している場合) 有り	0 50 75 100	 ○ ○
	手洗い洗剤の有無 (容器の中に洗剤はあるか) 爪ブラシ	10	有り(保管状態が悪い) 有り(掛られている、専用ケースに置かれている 等の保管状態のもの) 無し(又は共用の布タオルを使用) ロール式レシタル布タオル エアタオル又は逆性石鹼等に浸漬しているタオル ペーパータオル	0 50 75 100	 ○
	手拭設備	10	無し →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤だけの場合 有り(アルコール) 手押しタイプ 自動噴霧器タイプ ドアとの運動タイプ →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合 有り(逆性石鹼 等) 浸漬タイプ(逆性石鹼等に浸漬しているタオルを使用) 浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる) →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合	0 100 75 100 +10	 ○
	消毒剤	10	無し →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤だけの場合 有り(アルコール) 手押しタイプ 自動噴霧器タイプ ドアとの運動タイプ →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合 有り(逆性石鹼 等) 浸漬タイプ(逆性石鹼等に浸漬しているタオルを使用) 浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる) →但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合	0 100 75 100 +10	 ○
	手洗いマニュアルの有無	5	無し 有り	0 100	 ○
	手洗い設備(各現場)	10	無し(各区分毎に一つでもなければ無しと見なす) 有り(シンクと共用) →但し、レバータイプ 有り(不適切な場所に手洗い専用の設備がある) →但し、レバータイプ →但し、足踏みタイプ又は自動タイプ 有り(適切な場所に手洗い専用の設備がある) →但し、レバータイプ →但し、足踏みタイプ又は自動タイプ	0 50 +5 75 +5 +10 100 +5 +10	 ○
	手洗い洗剤の有無 (容器の中に洗剤はあるか) 爪ブラシ	10	無し(又は固形石鹼を使用している場合) 有り	0 100	 ○
	消毒剤	5	無し 有り(保管状態が悪い)	0 50	 ○

手洗いマニュアルの有無	5	無し 有り		0 100 ○
手洗い設備(各現場)	10	無し(各区分毎に一つでもなければ無しと見なす)		0
		有り(シンクと共用)		50
		→但し、レバータイプ		+5
		有り(不適切な場所に手洗い専用の設備がある)		75
		→但し、レバータイプ		+5 ○
		→但し、足踏みタイプ又は自動タイプ		+10
手洗い洗剤の有無 (容器の中に洗剤はあるか)	10	有り(適切な場所に手洗い専用の設備がある)		100
		→但し、レバータイプ		+5
		→但し、足踏みタイプ又は自動タイプ		+10
		無し(又は固形石鹼を使用している場合)		0
爪ブラシ	5	有り		100 ○
		無し		0
手拭設備	10	有り(保管状態が悪い)		50 ○
		有り(掛られている、専用ケースに置かれている 等の保管状態のもの)		100
		無し(又は共用の布タオルを使用)		0
		ロール式レンタル布タオル		50
		逆性石鹼等に浸漬しているタオル		75
		ペーパータオル		100 ○
		無し		0
		→但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤だけの場合		100
消毒剤	10	有り(アルコール)		
		手押しタイプ		75 ○
		自動噴霧器タイプ		100
		→但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合		+10
		有り(逆性石鹼 等)		
		浸漬タイプ(逆性石鹼等に浸漬しているタオルを使用)		75
		浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる)		100
		→但し、逆性石鹼配合の手洗い洗剤の場合		+10
手洗い場の状況	5	手洗いができない (物が置かれている、他の用途に使われている、水が出ない)		0
		手洗いがすぐに見える →更に、マニュアルがある(全箇所)		100 ○
大項目1の小項目の合計点数	100			1005
大項目1の得点 (小項目の各比率からの換算値)				86

小項目(手洗いの)の評価表

大項目(手洗いの)

出入り口

各現場

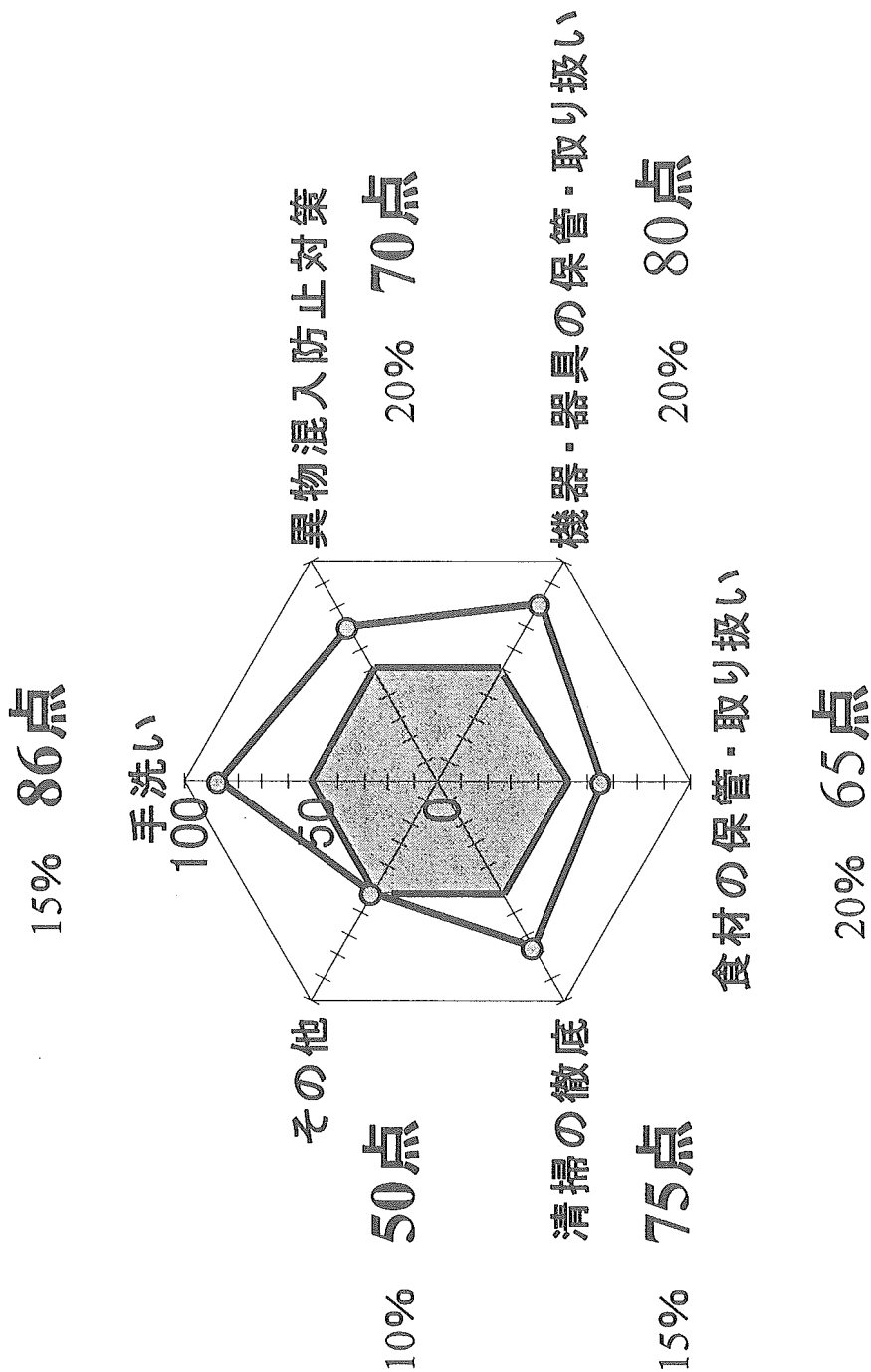
得点 86 点



総合評定結果表

2004.3.19

総合得点 72点



注釈: 数字の意味

青字 大項目での比率(%)

橙字 小項目×大項目からの得点(点)

赤字 総合得点(桃字の合計)

小項目および大項目の評価基準一覧表(不合格例)

NO	大項目	大項目の得点	大項目間比率(%)	小項目NO	小項目	小項目間比率(%)	小項目の内容	小項目得点(点)	評価結果
1	手洗い(出入り口)	0 -(8+)	15		手洗い設備	10	無し レバータイプ 足踏みタイプ又は自動タイプ 無し又は固形石鹸を使用している場合	0 50 75 100	○
					手洗い洗剤の有無 (容器の中に洗剤はあるか) 爪ブラシ	5	有り(保管状態が悪い) 有り(使われている。専用ケースに置かれている。等の保管状態のもの) ロールタオル・布タオル エアタオル又は湿性石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル	0 50 100	○
					手拭設備	10	無し(又は共用の布タオルを使用) エアタオル又は湿性石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル	0 75 100	○
					消毒剤	10	無し 有り(アルコール) 手拭きタイプ 自動噴霧器タイプ ドア等の運動タイプ 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合 有り(湿性石鹸 等) 浸漬タイプ(湿性石鹸等に浸漬しているタオルを使用) 浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる) 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合	0 100 75 100 125 +10 75 100 +10	○
	手洗い(各野場)				手洗いマニキュアの汚染	5	無し 有り	0 100	○
					手洗い設備	10	無し(各野場に一つでもなければ無しと罰をす) 有り(シンクと共用) 一旦し、レバータイプ 有り(不適切な場所に手洗い専用の設備がある) 一旦し、レバータイプ 一旦し、足踏みタイプ又は自動タイプ 有り(適切な場所に手洗い専用の設備がある) 一旦し、レバータイプ 一旦し、足踏みタイプ又は自動タイプ	0 50 +5 75 +5 +10 100 +5 +10	○
					手洗い洗剤の有無 (野場の中に洗剤はあるか) 爪ブラシ	5	無し 有り(保管状態が悪い) 有り(使われている。専用ケースに置かれている。等の保管状態のもの) ロールタオル・布タオル 湿性石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル	0 50 100 75 100	○
					手拭設備	10	無し 有り(アルコール) 手拭きタイプ 自動噴霧器タイプ 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合 有り(湿性石鹸 等) 浸漬タイプ(湿性石鹸等に浸漬しているタオルを使用) 浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる) 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合	0 100 75 100 +10 75 100 +10	○
					消毒剤	10	無し 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合 有り(アルコール) 手拭きタイプ 自動噴霧器タイプ 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合 有り(湿性石鹸 等) 浸漬タイプ(湿性石鹸等に浸漬しているタオルを使用) 浸漬タイプ(浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる) 一旦し、湿性石鹸配合の手洗い洗剤の場合	0 100 75 100 +10 75 100 +10	○
					手洗い場の状況	5	手洗いができない (物が置かれている。他の用途に使われている。水が出ない) 手洗いがすぐいである 一旦し、マニキュアがある(全箇所)	0 100 +10	○
					大項目1の小項目の合計点 大項目1の得点 (小項目の各比率からの換算値)	100		0 80+ 0 8+	○
2	異物混入防止対策	70	20						
3	保護・遮光の装置・取り扱い	80	20						
4	遮光の装置・取り扱い	65	20						
5	消毒の装置	75	15						
6	その他	50	10						
	大項目 1~6の合計	0	100						
	総合得点	0	58						

手洗いマニュアルの有無	5	無し 有り		0 100	○
手洗い設備（各現場）	10	無し（各区分毎に一つでもなければ無しと見なす） 有り（シンクと共用） →但し、レバータイプ 有り（不適切な場所に手洗い専用設備がある） →但し、レバータイプ →但し、足踏みタイプ又は自動タイプ 有り（適切な場所に手洗い専用設備がある） →但し、レバータイプ →但し、足踏みタイプ又は自動タイプ 無し（又は圆形石鹸を使用している場合） 有り		0 50 +5 75 +5 +10 100 +5 +10	
手洗い洗剤の有無 （容器の中に洗剤はあるか）	10	無し 有り		100	○
爪ブラシ	5	無し 有り（保管状態が悪い）		0 50	○
手拭設備	10	有り（掛られている、専用ケースに置かれている 等の保管状態のもの） 無し（又は共用の布タオルを使用） ロール式レンタル布タオル 逆性石鹸等に浸漬しているタオル ペーパータオル		0 50 75 100	○
消毒剤	10	無し →但し、逆性石鹸配合の手洗い洗剤だけの場合 有り（アルコール） 手押しタイプ 自動噴霧器タイプ →但し、逆性石鹸配合の手洗い洗剤の場合 有り（逆性石鹸 等） 浸漬タイプ（逆性石鹸等に浸漬しているタオルを使用） 浸漬タイプ（浸漬後、流水ですすぎ乾燥させる） →但し、逆性石鹸配合の手洗い洗剤の場合		0 100 75 100 +10	○
手洗い場の状況	5	手洗いができない （物が置かれている、他の用途に使われている、水が出ない） 手洗いがすぐに行ける →更に、マニュアルがある（全箇所）		0 100 +10	○
大項目1の小項目の合計点数	100			0	965
大項目1の得点 （小項目の各比率からの換算値）				0	81

小項目(手洗いの評価表)

不合格例

大項目(手洗いの)

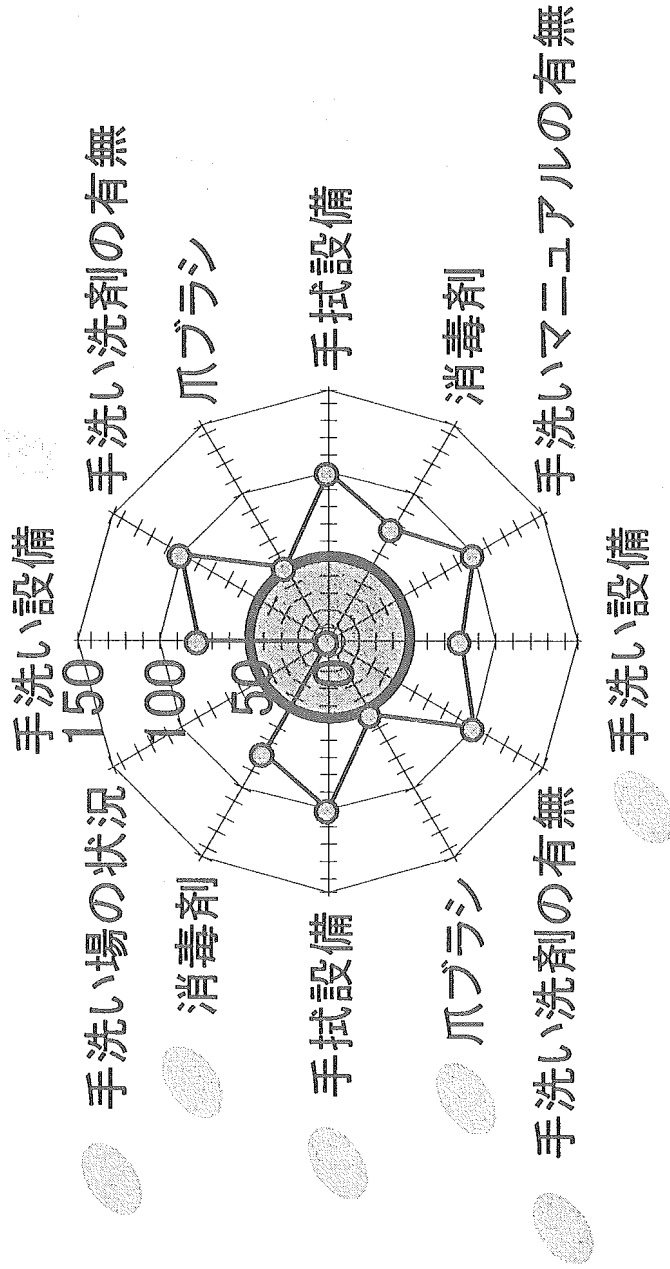
得点 ~~81~~ 点



以上の点数となる衛生管理をお願いします

出入り口

各現場



総合評定結果表

2004.3.19

0
総合得点 ~~79~~点

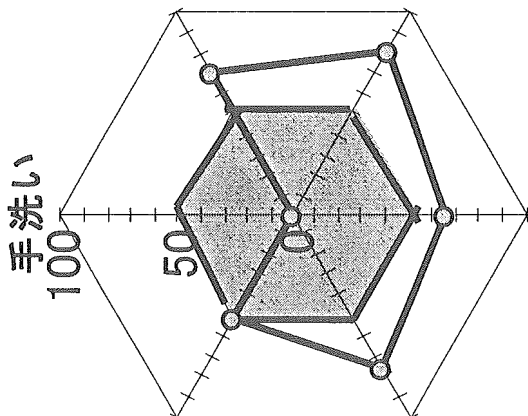
不合格例

15% 0点

手洗い場の前に物が置かれています。
改善が必要です。



以上の点数となる衛生管理をお願いします



10% 50点

20% 70点

15% 75点

食材の保管・取り扱い

20% 80点

20% 65点

注釈: 数字の意味

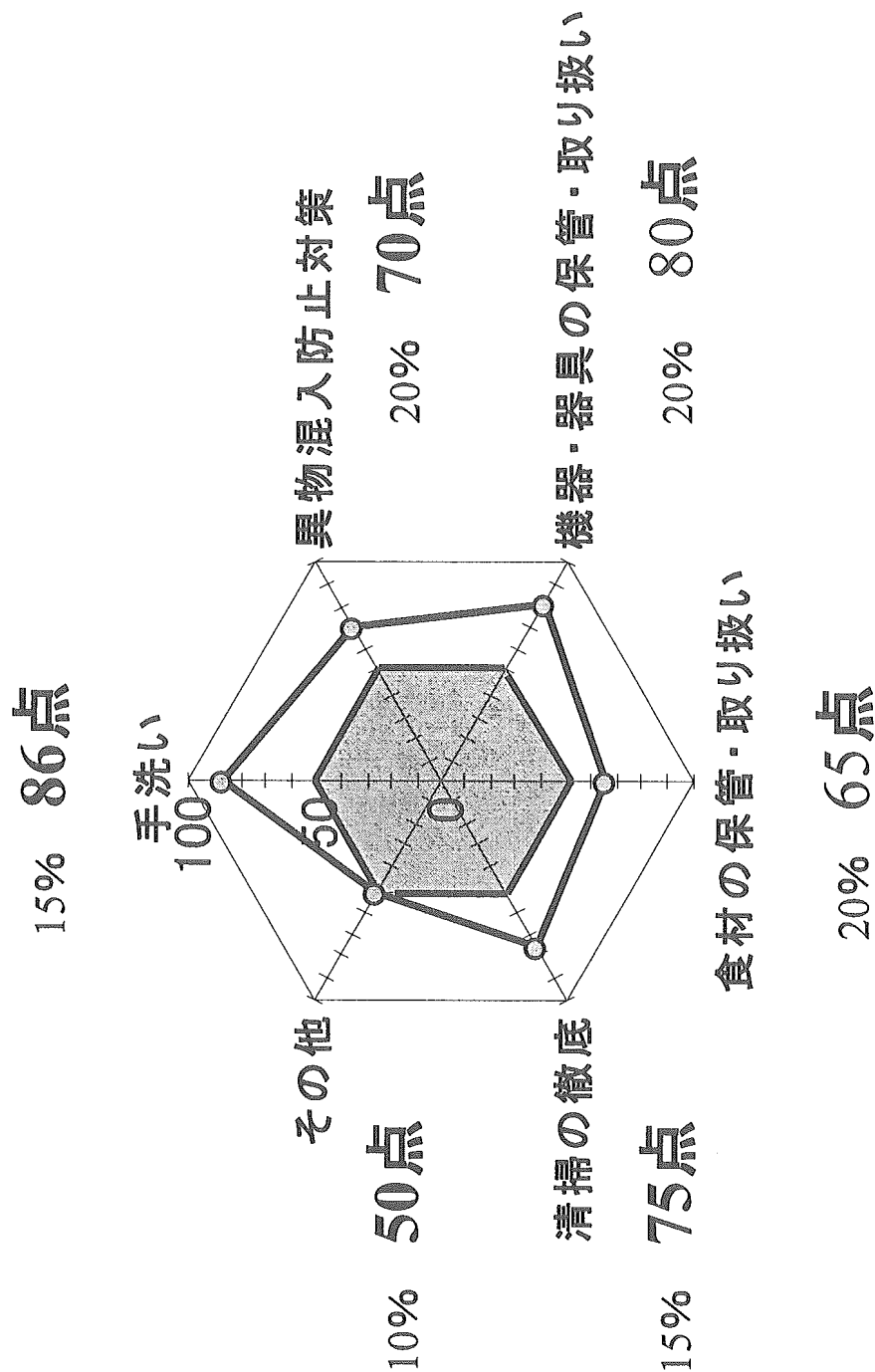
青字 大項目での比率(%)

橙字 小項目 × 大項目からの得点(点)

赤字 総合得点(桃字の合計)

総合評定結果表

総合得点 72点



注釈: 数字の意味

青字 大項目での比率(%)

橙字 小項目×大項目からの得点(点)

赤字 総合得点(桃字の合計)

中項目	頁目 比率(%)	小項目	小項目 点数(点)	小項目 ランク
建屋出入り口付近の照明 (外)		一般照明が設置してある	50	
		防虫ランプが設置してある	100	
建屋出入り口外側の捕虫器		すぐそば(25m以内)に設置している	0	
		設置していない	100	
【光が漏れない条件】 窓が漏れない ガラスが防虫加工されている 窓が遮光されている		(ドア・窓) (照明の種類)		順位
		漏れる 漏れない 一般	50	8
		漏れる 漏れない 一般	55	7
		漏れる 漏れない 防虫	60	6
		漏れない 漏れない 防虫	65	5
		漏れない 漏れない 一般	75	4
		漏れない 漏れない 防虫	85	3
		漏れない 漏れない 一般	100	2
		漏れない 漏れない 防虫	125	1
		隙間がある	50	
隙間がない	100			
建屋出入り口付近の窓の構造		隙間がある	50	
		隙間がない	100	
建屋出入り口内側の捕虫器		窓が開く構造になっている	50	
		窓が開かない構造になっている	100	
		設置している(光が常に漏れる)	50	
		設置している(光がドアを開けたとき直接漏れる)	75	
		設置していない(光がドアを開けたとき直接漏れない)	100	
設置していない(作業場前に捕虫器があるか否かをチェックする)	100			
靴の履き替え方法		外履きで作業場に立ち入る	0	
		外履きで更衣室まで立ち入り、そこで作業靴に履き替える	50	
		外履きを更衣室で脱ぎ、上履きまたは靴下のみ前室まで移動し、作業靴に履き替える	75	
		外履きを通用口で脱ぎ、靴下のみ前室で脱ぎ、前室で作業靴に履き替える	100	
		→作業靴に履きかえる前に粘着シートで汚れを取る場合	+10	
		外履きと内履きを通用口で履き替え、前室で作業靴に履き替える	100	
		→外履きと内履きが同じ下駄箱で管理している	-10	
		→外履きと内履きを2段式の下駄箱で管理している	+5	
		→外履きと内履きをそれぞれ専用の下駄箱で管理している	+10	
		→履き替えの時にゾーニング管理(スノコ、段差、線引き、色分け等)している	+10	
		→内履きと作業靴が同じ下駄箱で管理している	-10	
		→内履きと作業靴を2段式の下駄箱で管理している	+5	
		→内履きと作業靴をそれぞれ専用の下駄箱などで管理している	+10	
		→履き替えの時にゾーニング管理(スノコ、段差、線引き、色分け等)している	+10	
		作業靴で加工室外を歩く	0	

